

# シグマ研究委員会 JENDL 積分評価ワーキンググループ

## 1980年度第1回会合議事録

日 時 : 1980年4月30日

場 所 : 原研本部第5会議室

出席者 : 菊池, 石黒, 高野(原研), 亀井(NAIG), 関(MAPI)  
松延(住原工), 瑞慶覧(日立), 山本(FBEC), 大竹(PNC)  
五十嵐(原研: オブザーバー)

配布資料 JENA35: 菊池他: Preliminary Results of Benchmark Tests on JENDL-2

JENA36: 山本 : JENDL-2B による ZPPR-9 解析結果の概要

### 1. 事務局報告

- a) 1980年度の実行予算でベンチマーク関係に300万認められた。当ワーキンググループで200万使用できる。
- b) 今年度から, 重核評価ワーキンググループが改組され, 核データ評価コードワーキンググループとなり, JENDL-3のために評価用コードの整備にあたる。

### 2. ZPPR-9の解析

山本氏

- JENDL-2Bによる解析の結果の第1段階について報告があった
- $k_{eff} = 0.993$
- 中心反応率比: まず良好である。
- 反応率分布
  - U-235f : シムロッドの間で大きくなるが全体としては良く合う
  - Pu-239f : I/C, O/Cで大きく変動するが "
  - U-238f : RBで過大評価, ABでは著るしい過小評価
  - U-238c : RB, ABでやや過小評価
- ドブラー係数 : C/E = 1.02
- Na ボイド係数 : ボイド領域が大になるとC/Eが上がる(FOP)

◦ C/R 価値 : 炉中心で C/E = 0.9 O/C で C/E = 1.0

3. MZB, ZPPR-3 の解析計画

- NAIG MAPI = 100 万円ずつで依頼する
- 70 群から SLAROME でセル計算をして縮約する。この作業には FBEC が協力する
- 計算機は原研のものを使用できるようにする
- ZPPR-3 の反応率分布の輸送補正はすべきかどうか検討する

4. その他

a) ベンチマーク体系の洗い直し

原子炉システム研が PNC より受託している。この W.G. でも検討する。

b) 核分裂スペクトルと  $^{238}\text{U}$  の非弾性散乱の問題

感度解析を核データセンターでやる予定である。